

ク 土 木

事業名	耐震診断及び木造住宅耐震改修補助事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	款	08	土木費	
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		項	01	土木管理費	
主管課	都市計画部 建築住宅課			目	02	建築指導費	
主管課長	菅原 智夫		事業コード	01 - 51			
事業目的	対象（誰を・何を） 旧基準建築の木造住宅及びマンションに居住の市民		意図（どういう状態にしたいのか） 住宅の耐震性の向上を図り、大地震時における市民の生命と財産の安全を確保する。				
事業内容	昭和56年以前に建築された木造住宅及び分譲マンションの耐震診断に対し、費用の一部を補助する。 昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震改修工事に対し、費用の一部を補助する。 耐震診断に基づく耐震改修の実施により、市民の生命及び財産の安全の確保を図る。						
事業の実績	木造住宅耐震診断補助金交付申請受付件数	49	件	決算額	事業費計		9,575,000 円
	分譲マンション耐震診断補助金交付申請受付件数	0	件		財源内訳	国庫支出金	2,754,000 円
	木造住宅耐震改修補助金交付申請件数	25	件			県支出金	1,840,000 円
						分担金・負担金	0 円
						使用料・手数料	0 円
						基金繰入金	0 円
						地方債	0 円
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	4,981,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果	耐震診断及び耐震改修工事の相談も多く、市民の理解が深まっている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 無 翌年度への明許繰越額 14,000,000円			



木造住宅の耐震改修

事業名	道路維持補修事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	目	目	02 道路維持費	目	
主管課	土木部 道路管理課		主管課長	川崎 一也		事業コード	01 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 流山市が認定、供用を開始し、管理している道路		意図（どういう状態にしたいのか） 道路及び付属施設等の機能の劣化又は破損等に対応した適切な補修・改善を実施し、道路構造等を適切な状態に維持保全する。				
事業内容	舗装補修。 道路側溝の補修又は改修（一部新設を含む）。 その他、道路付属施設の補修（一部新設を含む）。						
事業の実績	道路舗装補修延長	3,266	m	決算額	事業費計		184,144,800 円
	情報処理件数	796	件		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	4,588,500 円			
			一般財源	179,556,300 円			
指標で表すことができない定性的な成果			繰越の有無	有	継続費の設定		無
	繰越・継続費の状況		前年度からの事故繰越額 4,588,500円（工事1件） 翌年度への明許繰越額 110,962,700円（工事11件）				



補修後の道路(江戸川台東付近)

事業名	道路管理放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	目	目	02 道路維持費	目		
主管課	土木部 道路管理課		主管課長	川崎 一也		事業コード	01 - 56	
事業目的	対象（誰を・何を） 市内、小中学校通学路の排水施設等の除染		意図（どういう状態にしたいのか） 排水施設等の放射線量を低減することで、児童、市民の健康への配慮や不安を解消する。					
事業内容	汚泥収納袋（フレコンパック）の購入。 側溝汚泥の脱水ケーキ処理。 汚泥仮置場の土地借上げ。 道路排水施設等の清掃。							
事業の実績	フレコンパックの購入	46	袋	決算額	事業費計		115,086,030 円	
	汚泥脱水処理	0	t		国庫支出金	74,730,879 円		
	汚泥仮置場	403	m ²		県支出金	0 円		
	道路排水施設等の清掃	39,928	m		分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
				地方債	0 円			
				その他特定財源	0 円			
				一般財源	40,355,151 円			
指標で表すことができない定性的な成果	小中学校通学路の除染作業を実施し、放射線量を基準値未満とした。		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無



使用後の汚泥収納袋

事業名	市道前ヶ崎・向小金1号道路拡幅事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		目	03 道路新設改良費	目	
主管課	土木部 道路建設課		主管課長	遠藤 茂		事業コード	01 - 56
事業目的	対象（誰を・何を） 市民・児童		意図（どういう状態にしたいのか） 歩道整備による安心、安全な歩行空間を確保する。				
事業内容	歩道未整備区間である向小金福祉会館からたけの子ルーム前までの約170m区間における歩行者の安全確保を目的に幅員2.5mの歩道整備を図る。						
事業の 実績	整備済延長	16.80 m	決算 額	事業費計		5,779,200 円	
	整備率	9.9 %		国庫支出金	0 円		
				県支出金	0 円		
				分担金・負担金	0 円		
				使用料・手数料	0 円		
				基金繰入金	0 円		
				地方債	0 円		
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	5,779,200 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



市道前ヶ崎・向小金1号道路(たけのこルーム付近)

事業名	名都借跨線橋道路拡幅改良事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予算科目	款	08	土木費	
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備			項	02	道路橋りょう費	
主管課	土木部 道路建設課				目	03	道路新設改良費	
主管課長	遠藤 茂			事業コード	01 - 70			
事業目的	対象（誰を・何を） 市民			意図（どういう状態にしたいのか） 拡幅改良により、緊急時の大型車両の通行及び歩行者の安心安全を確保する。				
事業内容	名都借跨線橋を含む約328mの区間において、緊急時大型車両の通行が可能となるよう拡幅改良を行い、歩行者、自転車通行の安全を確保し、あわせて周辺地区における通行の円滑化と安全を図る。							
事業の実績	整備済延長	0.8	m	決算額	事業費計		4,389,000 円	
	整備率	0.2	%		財源内訳	国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	0 円				
			一般財源	4,389,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無	



名都借跨線橋

事業名	江戸川台駅西口広場改良事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		項	02 道路橋りょう費			
				目	03 道路新設改良費			
主管課	土木部 道路建設課		主管課長	遠藤 茂		事業コード	02 - 52	
事業目的	対象（誰を・何を） 市民		意図（どういう状態にしたいのか） 地域生活拠点として、交通結節機能及び利便性の向上を図り、駅利用車両及び歩行者の安全を確保する。					
事業内容	西口広場の改良を行う。バス・タクシー等の乗降位置を区分し、利便の向上を図るため、シェルター・ベンチ・誘導ブロック・照明を配置する。							
事業の実績	進捗率	100	%	決 算 額	事業費計		91,725,000 円	
					国庫支出金	33,280,000 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	0 円				
			一般財源	58,445,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		無	継続費の設定		有
			平成23年度からの2カ年継続事業		151,725,000円			



江戸川台駅西口広場

事業名	調整池維持管理事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	03 河川費
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	目	目	01 河川総務費		
主管課	土木部 河川課		主管課長	鈴木 和男		事業コード	02 - 56
事業目的	対象（誰を・何を） 調整池周辺及び下流に住む市民。		意図（どういう状態にしたいのか） 調整池排水施設の適切な保守・管理を行い、治水安全度を確保する。 植栽帯や法面等の草刈を行い、良好な住環境を提供する。				
事業内容	草刈及び清掃業務委託。 排水施設保守点検業務委託。 光熱水費の支払い。						
事業の実績	苦情の件数	0 件	決算額	事業費計		12,753,853 円	
	電気料	16 円/m3		国庫支出金	0 円		
	草刈料	27 円/m3		県支出金	0 円		
				分担金・負担金	0 円		
				使用料・手数料	0 円		
				基金繰入金	0 円		
				地方債	0 円		
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	12,753,853 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



新東谷調整池の様子

事業名	大堀川防災調節池河川環境用水整備事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款	08 土木費	項	03 河川費
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		目	目	02 河川建設改良費		
主管課	土木部 河川課			主管課長	鈴木 和男		事業コード	01 - 63
事業目的	対象（誰を・何を） 大堀川防災調節池を散策する市民			意図（どういう状態にしたいのか） 大堀川防災調節池に環境用水を導水し、河川の水量確保及び水質を維持して良好な水辺環境を市民に提供する。				
事業内容	大堀川の水質を良好に保つため、北千葉導水路から大堀川防災調節池に維持用水を導水する管渠を整備する。							
事業の実績	管渠整備延長	319	m	決算額	事業費計		118,000,000 円	
	BOD測定値	6.7	mg/L		国庫支出金	50,125,000 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	66,875,000 円				
			一般財源	1,000,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無 有 継続費の設定 有 平成22年度から3ヵ年継続事業 300,000,000円 前年度からの繰越繰越額 117,000,000円					



大堀川防災調節池管渠の様子

事業名	大堀川防災調節池修景整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	款	08	土木費	
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		項	03	河川費	
主管課	土木部 河川課		目	02	河川建設改良費		
主管課長	鈴木 和男		事業コード	01 - 64			
事業目的	対象（誰を・何を） 大堀川防災調節池を散策する市民		意図（どういう状態にしたいのか） 台風などの出水時の治水機能を有する調節池を、平常時は生物の生息空間を確保する公園や散策の場としての多目的空間として整備する。				
事業内容	調節池周辺に散策や、自然観察を行えるよう植栽や通路整備を行う。 大堀川防災調節池環境用水整備事業と一体的に水辺環境を整備する。						
事業の実績	整備率	100	%	決算額	事業費計		188,000,000 円
					財源内訳	国庫支出金	76,538,000 円
						県支出金	0 円
						分担金・負担金	0 円
						使用料・手数料	0 円
						基金繰入金	0 円
						地方債	0 円
				その他特定財源	86,962,000 円		
				一般財源	24,500,000 円		
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	有	
			平成22年度から3ヵ年継続事業 264,000,000円 前年度からの繰越繰越額 155,000,000円				



大堀川防災調節池を散策する市民

事業名	ぐりーんバス運行事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08	土木費	
				項	04	都市計画費	
施 策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	目	02	交通計画費		
主管課	都市計画部 都市計画課		主管課長	亀山 和男		事業コード	02 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	主に公共交通空白地域（駅徒歩圏外）の市民		交通不便地域の市民に対し、最寄りの鉄道駅との交通手段を確保することで、交通利便性の向上を図る。				
事業内容	ぐりーんバスの路線設定、ダイヤを編成して運行する。また、既存路線についても利用の向上が図られるよう必要な対応・工夫を行う。						
事業の実績	利用者数（年間）	678,155	人	決 算 額	事業費計		28,924,020 円
	一日あたり利用者数	1863.10	人		財 源 内 訳	国庫支出金	0 円
	路線数	6	ルート			県支出金	0 円
						分担金・負担金	0 円
	停留所設置数	96	箇所			使用料・手数料	0 円
						基金繰入金	0 円
			地方債	0 円			
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	28,924,020 円			
指標で表すことができない定性的な成果	これまで公共交通の整備されていなかった公共施設等について、交通アクセスが確保された。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



市内を運行するぐりーんバス

事業名	運河駅施設整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	款	08	土木費	
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		項	04	都市計画費	
主管課	都市計画部 都市計画課		目	02	交通計画費		
主管課長	亀山 和男		事業コード	03 - 51			
事業目的	対象（誰を・何を） 東武野田線運河駅の利用者		意図（どういう状態にしたいのか） 駅利用者が快適に利用できるようにする。				
事業内容	運河駅東口駅前広場等の整備と併せて、運河駅の自由通路及び橋上駅舎を整備する。整備にあたっては、運河駅施設整備基金、社会資本整備総合交付金（まちづくり交付金）等を活用しながら実施する。						
事業の実績	便利だと感じている駅利用者の割合	61.9 %	決算額	事業費計		684,959,000 円	
				国庫支出金	441,400,000 円		
				県支出金	0 円		
				分担金・負担金	0 円		
				使用料・手数料	0 円		
				基金繰入金	93,239,000 円		
				地方債	137,200,000 円		
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	13,120,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定		有
		平成23年度から3ヵ年事業 1,881,274,000円 前年度からの繰越繰越額 112,639,000円					



運河駅工事中的様子

事業名	運河駅東口周辺市街地整備事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	04 都市計画費
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	目	目	03 土地区画整理費		
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長	齋藤 一男		事業コード	01 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 運河駅東口周辺地区		意図（どういう状態にしたいのか） 運河駅東口の駅前広場等の整備を行い、交通アクセスの利便性の向上を図る。				
事業内容	運河駅東口開設に向け、駅舎の橋上化と合わせ、東口周辺の道路・駅前広場の整備を行う。東武野田線運河駅東口の開通に併せ、駅前広場・幹線道路や利根運河に通じる歩行者専用道路の整備を行う。						
事業の 実績	事業用地取得率	88.38 %	決 算 額	財 源 内 訳	事業費計		124,779,452 円
	整備率（事業費ベース）	84.31 %			国庫支出金	7,640,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	55,600,000 円	
			その他特定財源	50,879,892 円			
			一般財源	10,659,560 円			
指標で表す ことができない 定性的な成果	線越・ 継続費 の状況	線越の有無		有	継続費の設定		無
		前年度からの明許線越額	61,808,793円				
		前年度からの事故線越額	29,971,099円				
		翌年度への明許線越額	59,946,440円				
		翌年度への事故線越額	71,369,347円				



運河駅東口工事の様子

事業名	都市広場等放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	04 都市計画費
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	目	目	04 新市街地推進費		
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長	齋藤 一男		事業コード	01 - 52
事業目的	対象（誰を・何を） 流山おおたかの森駅南口都市広場		意図（どういう状態にしたいのか） 空間放射線量の低減を図り、利用者が安心して利用できる空間を確保する。				
事業内容	広場内の空間放射線量が基準値以上の区域を高圧洗浄や土砂除去により低減を図る。						
事業の実績	空間放射線量	0.18	$\mu\text{Sv/h}$	決 算 額	事業費計		3,280,200 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	3,280,200 円			
指標で表すことができない定性的な成果	空間放射線量の低減が図れ、利用者が安心して利用できるようになった。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



除染終了後の流山おおたかの森駅都市広場

事業名	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理国費対象市負担事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策		
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費				
				項	04 都市計画費				
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	目	04 新市街地推進費					
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長	齋藤 一男		事業コード	02 - 51		
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）						
	運動公園周辺地区土地区画整理事業		道路、公園等の公共施設及び宅地整備を進め、つくばエクスプレス沿線整備の促進を図り、良好な市街地を形成する。						
事業内容	土地区画整理事業施行者との費用負担協定に基づき、国庫補助対象事業費の国費裏の1/2を費用負担するもの。								
事業の実績			決算額	事業費計		211,264,624 円			
				国庫支出金	0 円				
				県支出金	0 円				
				分担金・負担金	0 円				
				使用料・手数料	0 円				
				基金繰入金	0 円				
				地方債	189,900,000 円				
		その他特定財源	12,141,309 円						
		一般財源	9,223,315 円						
指標で表すことができない定性的な成果	幹線道路の整備により地域間の道路ネットワークが整備され、周辺道路の渋滞解消、生活道路への車両進入抑制が図れている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定		無
				前年度からの明許繰越額		120,041,309円		翌年度への明許繰越額	

事業名	木地区一体型特定土地区画整理国費対象市負担事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策		
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費				
				項	04 都市計画費				
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	目	04 新市街地推進費					
主管課	都市整備部 まちづくり推進課		主管課長	齋藤 一男		事業コード	02 - 53		
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）						
	木地区土地区画整理事業		道路、公園等の公共施設及び宅地整備を進め、つくばエクスプレス沿線整備の促進を図り、良好な市街地を形成する。						
事業内容	土地区画整理事業施行者との費用負担協定に基づき、国庫補助対象事業費の国費裏の1/2を費用負担するもの。								
事業の実績			決算額	事業費計		124,397,150 円			
				国庫支出金	0 円				
				県支出金	0 円				
				分担金・負担金	0 円				
				使用料・手数料	0 円				
				基金繰入金	0 円				
				地方債	111,700,000 円				
		その他特定財源	2,825,000 円						
		一般財源	9,872,150 円						
指標で表すことができない定性的な成果	幹線道路の整備により地域間の道路ネットワークが整備され、周辺道路の渋滞解消、生活道路への車両進入抑制が図れている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定		無
				前年度からの明許繰越額		27,325,000円		翌年度への明許繰越額	

事業名	都市計画道路3・3・28号中駒木線道路改良事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款	08 土木費	項	04 都市計画費
施 策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		目	目	05 街路事業費		
主管課	土木部 道路建設課			主管課長	遠藤 茂		事業コード	02 - 56
事業目的	対象（誰を・何を） 道路利用者			意図（どういう状態にしたいのか） 市民や利用者の安全及び利便性の向上を図る。				
事業内容	都市計画道路を整備し、交通の円滑化と安全対策を図る。							
事業の 実績	整備済延長	66	m	決算額	事業費計		44,500,222 円	
	整備率	45.2	%		国庫支出金	21,093,000 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	0 円				
			一般財源	23,407,222 円				
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



都市計画道路3・3・28号中駒木線道路(駒木交差点付近)

事業名	都市計画道路3・5・16号三輪野山西平井線 道路改良事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	08 土木費	項	04 都市計画費
施 策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	目	目	05 街路事業費		
主管課	土木部 道路建設課		主管課長	遠藤 茂		事業コード	02 - 58
事業目的	対象（誰を・何を） 道路利用者		意図（どういう状態にしたいのか） 市民や利用者の安全及び利便性の向上を図る。				
事業内容	西平井・鰯ヶ崎区画整理地区と三輪野山・平和台地区を結ぶ路線であり、地域住民の安全と利便性の向上を図るために、現道の拡幅工事を実施する。 延長 L=40m						
事業の実績	整備済延長	0.2 m	決算額	事業費計		1,638,000 円	
	整備率	0.5 %		国庫支出金	0 円		
				県支出金	0 円		
				分担金・負担金	0 円		
				使用料・手数料	0 円		
				基金繰入金	0 円		
				地方債	0 円		
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	1,638,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



都市計画道路3・5・16号三輪野山西平井線道路(平和台3丁目交差点付近)

事業名	既成市街地地区公園施設新設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政 策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算	款	08	土木費		
				科 目	項	04	都市計画費		
施 策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理			目	08	公園費		
主管課	都市整備部 みどりの課			主管課長	天川 一典		事業コード	02 — 58	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	既成市街地地区の公園施設			市民が憩い安らげる場を提供するため、適切な公園施設の整備を行う。					
事業内容	既成市街地地区内の公園施設を整備し、身近に憩い安らぐ空間を確保する。								
事業の実績	公園工事件数	3 件		決算額	財源内訳	事業費計		9,950,850 円	
						国庫支出金	0 円		
						県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
						その他特定財源	0 円		
			一般財源	9,950,850 円					
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定		無

事業名	新市街地地区公園施設新設事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政 策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算	款	08	土木費		
				科 目	項	04	都市計画費		
施 策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理			目	08	公園費		
主管課	都市整備部 みどりの課			主管課長	天川 一典		事業コード	02 — 62	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	新市街地地区の公園施設			土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園の整備を行い、良好な環境形成に資する。					
事業内容	新市街地地区内の公園施設を整備し、身近に憩い安らぐ空間を確保する。								
事業の実績	公園用地取得済面積	2,522 m ²		決算額	財源内訳	事業費計		205,507,000 円	
						国庫支出金	84,067,000 円		
						県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
						その他特定財源	0 円		
			一般財源	121,440,000 円					
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定		無

事業名	公園等放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予算科目	款	08	土木費	
				項	04	都市計画費	
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理	目	08	公園費		
主管課	都市整備部 みどりの課		主管課長	天川 一典		事業コード	05 — 52
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	公園緑地		放射線量の低減を図り、市民が安心して利用できる空間を確保する。				
事業内容	市内の公園等に関して、放射線量の高い広場部分等の低減策を実施する。						
事業の実績	除染対応箇所数	263	箇所	決算額	事業費計		603,731,852 円
					国庫支出金	495,649,576 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	108,082,276 円			
指標で表すことができない定性的な成果	空間放射線量の低減が図れ、利用者が安心して利用できるようになった。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



公園の除染作業

事業名	市営住宅整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	08	土木費		
施策	4-3	誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり	項目	05	住宅費		
			目	01	住宅管理費		
主管課	都市計画部 建築住宅課		主管課長	菅原 智夫		事業コード	01 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 住宅に困窮している市民		意図（どういう状態にしたいのか） 市営住宅の長寿命化を図るとともに適正な住環境のもとで安心して生活できるようにする。				
事業内容	良好な住環境を目指し、住宅の改修工事を実施する。						
事業の実績	工事件数	2 件		決算額	事業費計		44,891,658 円
					国庫支出金	3,311,000 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	41,580,658 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



市営住宅若宮団地

事業名	市営住宅借上事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款	08	土木費	
				項	05	住宅費	
施 策	4-3	誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり	目	01	住宅管理費		
主管課	都市計画部 建築住宅課		主管課長	菅原 智夫		事業コード	01 - 55
事業 目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	住宅に困窮する低所得者		民間活力の導入により、市営住宅の不足を補う。				
事業 内容	民間が建設した2団地を市が20年契約で借り上げ、市営住宅として市民に貸し出している。 三輪野山団地 契約期間：平成15年12月1日から平成35年11月30日 戸数43。 西初石団地 契約期間：平成18年3月6日から平成38年3月5日 戸数51。						
事業 の 実 績	入居世帯数	94	世帯	決 算 額	事業費計		82,157,800 円
					財 源 内 訳	国庫支出金	0 円
						県支出金	0 円
						分担金・負担金	0 円
						使用料・手数料	82,157,800 円
						基金繰入金	0 円
						地方債	0 円
				その他特定財源	0 円		
				一般財源	0 円		
指標で表す ことができない 定性的な成果		繰越・ 継続費 の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	